

静岡県から発見された日本未記録のホソカタムシ

青木淳一

〒 106-0031 東京都港区西麻布 3-8-12

A cylindrical bark beetle newly recorded from Japan

Jun-ichi AOKI

2010年2月、静岡県焼津市在住で雑甲虫類の収集研究をしておられる杉本（旧姓出口）可能氏から、図鑑などに出ていないと思われる4種のホソカタムシの画像が送られてきた。第1の種はナガヒラタホソカタムシ *Synchita angustissima* (Nakane, 1968) であることがわかった。沖縄で得られた第2の種は日本未記録のものでウスモンヒメヒラタホソカタムシ *Microsicus variegatus* (LeConte, 1858) として報告した（青木, 2011a）。第3の種は35年前

に草間慶一氏が硫黄島で採集されたというもので、これまた日本未記録の種であり、ヘリビロホソカタムシ *Phormesa lunaris* Pascoe, 1863 として報告した（青木, 2011b）。第4の種は静岡県磐田市で杉本氏自らによって採集されたもので、ナガセスジホソカタムシ属 *Bitoma* の一種らしいということはわかったが、なかなか種名同定に至らず、色々と文献を調べた結果、北アメリカ産の以下の種に該当することが判明したので、ここに報告する。

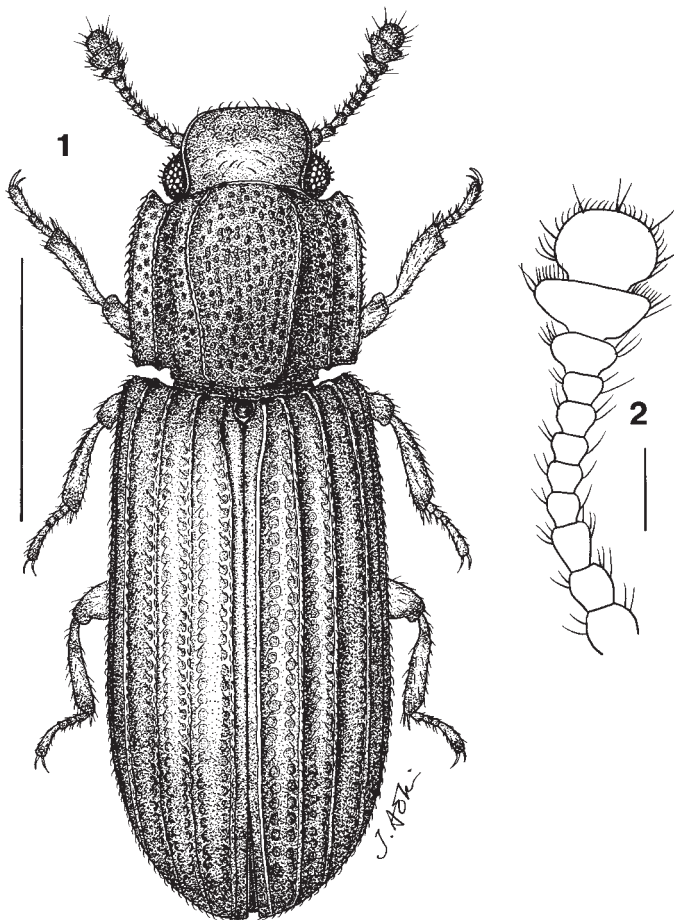


図1-2. ムナグロナガセスジホソカタムシ *Bitoma sulcata* (LeConte). 1: 全形図（背面）. 2: 触角（左側. 周辺部の毛のみ描き込んである）. スケールは、図1: 1.0 mm; 図2: 0.1 mm.

杉本可能氏には本種を含めて3種もの日本未記録種の標本を提供していただいた。そのことに敬意を表し、深く感謝申し上げる。それと同時に、日本産のホソカタムシ類も今後少しずつではあるが種が増えて行くであろうことが期待される。

コブゴミムシダマシ科 Zopheridae
 ホソカタムシ亜科 Colydiinae
 ナガセスジホソカタムシ属 *Bitoma*
 ムナグロナガセスジホソカタムシ (新称)
Bitoma sulcata (LeConte, 1858)

(図 1, 2)

Ditoma sulcata LeConte, 1858: 63; Horn, 1878: 566.

[形態的特徴] (静岡産の標本) 体長 3.03 mm, 体幅 1.05 mm. 頭部, 胸, 上翅の周辺, 触角の先端部, 脚の一部は黒色, 上翅の大部分, 触角の基半部, 脚の一部は黄褐色. 触角の球桿部は明らかに大きい XI 節と X 節, それにやや大きめの IX 節からなっている (図 2). 前胸背は長さよりも幅広く, 側縁は大部分平行であるが, 前方で丸みを帯びながら狭まる. 背面には 2 対の非常に顕著でエッジの鋭い縦隆起がある. 前胸背の前角ははっきりと前方へ突出し, 後角は直角に角張る. 上翅の長さは幅の 2 倍, 5 対の顕著な縦隆起があり, 全体に短い毛の列を伴う.

原記載において本種は *Ditoma* 属に入れられていたが, 後に本属は *Bitoma* 属のシノニムとされ (Ivie and Ślipiński, 1990), 本種も *Bitoma* 属に移された. ナガセスジホソカタムシ属 *Bitoma* には非常に多くの種が含まれるが, ほとんどの種が黒または黒褐色一色, または上翅に明瞭な 2~3 対の斑紋をもち, 前胸背は幅よりも長く, 触角の球桿部は 2 節からなる. その中であって, 例外的なのが北アメリカ産の *Bitoma sulcata* (LeConte) であり, 頭胸部は暗色で上翅が明色のツートンカラーで斑紋を欠く. 前胸背は長さよりも幅広く, 背面の 2 対の縦隆起のエッジが鋭く, 触角の第 8 節はそれより後ろの第 4 節~第 8 節よりも大きいが第 9 節よりも小さく,

球桿部が 2 節からなるのか, 3 節からなるのか, どちらともいえるような状態である.

今回静岡県で発見された種は上記の特徴を完全に備えており, *sulcata* の原記載, 再記載ともよく合致し, またインターネット上で紹介されている鮮明な写真と比較しても, 形態, 色彩ともによく一致する. ナガセスジホソカタムシ属で日本から知られる唯一の種, ナガセスジホソカタムシ *Bitoma siccana* Pascoe, 1863 は全体黒色で, 前胸背は幅よりも長く, 触角の球桿部ははっきりと 2 節からなるので, 本種とは容易に区別される.

[採集データ] 1 頭: 静岡県磐田市新貝, 23-VII-1990. 出口可能(現姓:杉本). 粘着板ライト・トラップによる. ただ 1 頭の個体は破損しやすい状態にあるため, 交尾器の取り出しは困難で性別は不明である. 筆者は 2010 年 5 月に本種が採集された場所へ赴き, 磐田市内を広範囲に探索したが, 4 種のホソカタムシを得たものの本種を採集することはできなかった.

[分布] 北アメリカ (アリゾナ・カリフォルニア・テキサス)・日本 (新記録).

引用文献

- 青木淳一, 2011a. 日本産モンヒメヒラタホソカタムシ属 (新称) *Microsicus* と日本未記録種について. 神奈川虫報, (173), 1-9.
- 青木淳一, 2011b. 草間慶一博士の採集による日本未記録のホソカタムシ. 神奈川虫報, (175): 25-26.
- Horn, G. H., 1878. Synopsis of the Colydiidae of the United States. Proc. Amer. Philos. Soc., 17: 555-592.
- Ivie, M. A. and S. A. Ślipiński, 1990. Catalog of the genera of world Colydiidae (Coleoptera). Ann. Zool., Warszawa, 43: 1-32.
- LeConte, J. L., 1858. Description of new species of Coleoptera, chiefly collected by the United States and Mexican Boundary Commission, under Major W. H. Emory, U.S.A. Proc. Acad. Nat. Sci. Philad., 10, 59-89.
- Pascoe, F. P., 1863. List of the Colydiidae collected in the Indian Islands by Alfred R. Wallace, Esq., and description of new species. J. Ent., 2: 121-143, pl. 8.

(2011 年 12 月 19 日受領, 2012 年 2 月 20 日受理)